

炭 竈 ふく代 議員



弥生保育所等、老朽化した 施設を改築すべきではないか

問

弥生保育所は18年度の（北部保育所との）統廃合により、建物や運動場が手狭で諸問題が山積している。同所をはじめ老朽化した耐震性の乏しい施設は、早期に改築すべきではないか。

用地確保等、おおむね 3年計画で進めたい

答 市長

現在、各保育所、小・中学校の耐震強化は22年までに終えたい計画で今後も進めていく。

弥生保育所は、昭和48年建設から34年経過し老朽化も進んでおり、改築は必要と考えている。場所（の選定）や用地確保を20年度に計画していきたい。

財政的な状況もあるが、お

おむね3年計画をもって進めていきたい。保育所機能のほかに、支援センターや児童館、児童クラブ等の多機能を持った施設を今後考えなければならぬと思う。



▶昭和48年建設の弥生保育所

弥生保育所以外の 建て替えの構想は

問

弥生保育所以外の保育所の建て替え構想はあるか。

白鳥保育所も計画的に進めたい

答 市長

弥生保育所建設以前の白鳥保育所も老朽化が進んでいるので、計画的に進めていきたい。

近鉄弥富駅にエレベーターの設置を

問

近鉄弥富駅のエレベーター設置について尋ねる。

12年のバリアフリー法施行により、公共交通機関でもバリアフリー化が進められている。同駅は一日約1万5,000人の乗降客

があり、障害者も多いときは約20人が利用すると聞く。16年3月議会で近鉄に引き続き設置を働き掛けたとの答弁あったが、その後の交渉、進展状況を尋ねる。

大変厳しいが近鉄に 粘り強く交渉する

答 市長

近鉄本社に申し入れを行っているが、桑名等の特急停車駅を優先すると返事を聞いている。

現段階では大変厳しいが、これからも安心して駅を利用できるように粘り強く交渉していきたい。

なお、設置経費は4基で約2億円で、事業主体の近鉄が2分の1の1億円、市負担が約5,450万円、残りが国・県補助金で、国補は22年12月までが対象期間になっている。

非常に大きな経費がかかるということとは承知してほしいと思う。